

JIS 案コメントシート

| No. | 規格番号 | 委員名 | 行番号 (例. 17) | 箇条 細分箇条 (例. 3.1) | 段落/ 図 / 表 (例. 図 1) | コメントの 種類 ※ | コメント | 変更提案 | 検討結果・対応案 |
|-----|-------|-----|----------------------------|------------------------------|--------------------------|------------------|---|---|--|
| 1. | Q9028 | 勝俣 | 101 | 1 | | GE | 「管理間接」の表記は一般的ではないと考えます。 | 「間接管理」に変更 | ご指摘の点については、次の理由により原案のままとします。 【理由】 一般に「管理間接」が多く使われていること、本規格が扱う分野において「管理間接」という言葉が定着していることを考慮し、現状の記述が適切と考えます。 |
| 2. | Q9028 | 本山 | 397 | 5.4 | | ED | 「...ありたい姿を具体的に文章化し..」は、「文書化し」ではないでしょうか。 例えば、行 627 では「...改善事例を文書化するのがよい」と記されています。 | 「...ありたい姿を具体的に文書化し..」と変更した方が、この規格内及び他の MS 規格との記載の統一感を表現できると思われます。 | ご指摘の点については、次の理由により原案のままとします。 【理由】 数値にできない場合は言葉で表現するのがよいことを意図していますので、ここでは「文章化」が適切と考えます。 |
| 3. | Q9028 | 勝俣 | 413 756 1203 1204 | 5.5 6.4 附属書 B 附属書 B | 4 段落 2 段落 2 段落 | GE | 行番号 416、756 では人数表現に「5 名～8 名」と表記している。 一方で行番号 1203、1204 では「人」と表記しているため統一した方がよい。 | 1204, 1204 において「名」と表記する。 | ご指摘の通り「名」に修正します。 |

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

| No. | 規格番号 | 委員名 | 行番号 (例. 17) | 箇条 細分箇条 (例. 3.1) | 段落/ 図 / 表 (例. 図 1) | コメントの 種類 ※ | コメント | 変更提案 | 検討結果・対応案 |
|-----|-----------|----------------|-------------------------|------------------------|--------------------------|------------------|---|---|---|
| 4. | Q9028 | 経済産業省 国際標準課 | 432 ~ 433 | 5.5 | 7段落 目 | GE/ED | 「部門横断的な問題を解決する、又は課題を達成するために部門横断的にメンバーを集める際によく聞かれる発言として、“この忙しいのに他部門のために人なんか派遣できない”というのがある。」という表記について、具体例を示すことの意義は理解できますが、規格における表現としては修正が望ましいのではないかと考えます。 (例えば、右記のような修正) | 「部門横断的な問題を解決する、又は課題を達成するために部門横断的にメンバーを集める際に、 <u>多忙を理由に他部門のために人員を割くことを断る場合がある。</u> 」 | ご指摘の通り修正します。 |
| 5. | Q 9028 | 本山 | 479 と 487 ~488 | 5.6.3 | | ED | 487~488「なお、ここでいう“プロセス”とは、インプットを受け取って付加価値を 487 加え、アウトプットとして次に受け渡す活動のまとまりである。」は、プロセスという用語が本箇条内に既に登場する途中に挿入する記載になっていますが、解説の場所については全体の前後関係から理解しやすい位置を検討してはいかがでしょうか。 | プロセスの概念については、4.1 項に「小集団改善活動の基本を附属書 B に示す。」と表記され、B.2 に同様の説明があり、順序だてて読み進めれば既に読者に理解されているはずですので、この部分は記載しなくて良いかもしれません。読者にプロセス概念の再確認を促す意図ならば、同箇条 5.6.3 の「a) 関連するプロセスの明確化（附属書 B.2 参照）」のように最初に用語が登場する場所に記してはいかがでしょうか。 | ご指摘の点については、次の理由により原案のままとします。 【理由】 プロセスの概念については多くの人が理解していること、ご指摘のようによく知らない人は B.2 から先に読むことで理解できることを考慮して現在の記載が適切と考えます。 |
| 6. | Q 9028 | 本山 | 597 | 5.8.3 | 表 3 | ED | 表の左列「部」の記載では、「第 1 部」、「第 2 部」がそれぞれ表示されていますが、数字が中心からずれています。 | 数字の中心を合わせた方が、見目が整います。 | ご指摘の通り修正します。 |

JIS 案コメントシート

| No. | 規格番号 | 委員名 | 行番号 (例. 17) | 箇条 細分箇条 (例. 3.1) | 段落/ 図 / 表 (例. 図 1) | コメントの 種類 ※ | コメント | 変更提案 | 検討結果・対応案 |
|-----|-----------|----------------|---|------------------------|--------------------------|------------------|---|--|--|
| 7. | Q9028 | 経済産業省 国際標準課 | 651 ~ 653 | 6.1 | 1 段落 目 | GE | 「QC サークル活動は、TQM の発展途上の 1962 年に誕生した。当初の目的は、現場第一線に品質管理を定着させることにあったが、QC サークル活動が人を育て、職場の活力を高めることが実証されたことから、TQM の一翼を担うと同時に人材育成の重要な手段として位置付けられている。」とありますが、小集団改善活動を組織的に推進する場合の指針の規格において誕生した年を記載する必要性は乏しいのではないかと考えます。 | 「QC サークル活動誕生当初の目的は、現場第一線に品質管理を定着させることにあったが、QC サークル活動が人を育て、職場の活力を高めることが実証されたことから、TQM の一翼を担うと同時に人材育成の重要な手段として位置付けられている。」 | ご指摘の通り修正します。 |
| 8. | Q 9028 | 本山 | 全般 例 ; 689 696~ 700 756 814 843 856~7 903~5 923~4 949 1059 他 | | | ED | 漢数字と英数字の使い分けは、一貫したルールがあるのでしょうか？ 例えば 6.7.4 項 (行 949) では、「半年に <u>1</u> 回又は年 <u>1</u> 回発表会」と記されていますが、6.9.4 項では、「半年に <u>一</u> 度、年に <u>一</u> 度程度面談」と表現されています。 | もし、ルールの適用が無い場合には、一貫性のある標記に統一した方が読みやすくなると思われます。 | JIS Z 8301 (規格票の様式及び作成方法) 附属書 H H.5 (数字) に従い、使い分けています。 |

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

JIS 案コメントシート

| No. | 規格番号 | 委員名 | 行番号 (例. 17) | 箇条 細分箇条 (例. 3.1) | 段落/ 図 / 表 (例. 図 1) | コメントの 種類 ※ | コメント | 変更提案 | 検討結果・対応案 |
|-----|-----------|-----|----------------|------------------------|--------------------------|------------------|--|--|--|
| 9. | Q 9028 | 本山 | 821 826 | 6.6.1 6.6.2 | | ED | 6.6.1に「QCストーリー」及び「QC手法」の2つの用語が箇条6.6項として初めて登場します。「QCストーリー」を説明する参照先は、後(6.6.2項の行826)から登場し、「QC手法」は2頁後ろに登場します。説明の参照先等を挟む位置は、読みやすさの観点で検討してはいかがでしょうか。 | 例えば、6.6.1(行821)を、「...QCストーリー(6.6.4参照)及びQC手法(6.6.5参照)を活用するのがよい。」としてはいかがでしょうか。 | ご指摘の通り修正します。 |
| 10. | Q 9028 | 本山 | 976~977の間 | | 図8 | ED | 主に左から2行目などに記載されている「社内講師必須コース」を識別する枠内のドット柄は文字が読みとり難いです。 | ドット柄の網掛けを無くして白地にし、他のコースとの識別は枠線を太字にするなど文字に柄が被らない別の方法にしてはいかがでしょうか。 | ご指摘の通りドット柄は見にくいので、薄いグレー(無地)の網掛けに変更します。 |
| 11. | Q 9028 | 本山 | 994~1008 | 6.8.2 6.8.3 | 図9 | ED | 6.8.2項の行994に図9が参照情報として登場してから、図9の手前に6.8.3項が挿入されているため、若干読み取りにくいです。 | 行994と995の間に図9がある方が理解しやすいと思われます。 | ご指摘の通り図9を行994と995の間に移動します。 |
| 12. | Q 9028 | 本山 | 1169~1170 | 附属書 A.2 | 図A.1 | ED | 「ルールの作成及び順守」「結果(異常)」の枠内の灰色塗が文字を見にくくしています。 | 特に色を付けていることに深い意味がないのであれば、枠内の色は白地(塗りなし)にしてはいかがでしょうか。 | ご指摘の通り白地に変更します。 |

以上